

白河市 議会だより

2025.11.4

9月定例会

VOL.81

聖ヶ岩ふるさとの森



〈令和7年9月定例会〉

目次

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| ・9月定例会…………… 2～3p | ・各常任委員会の審査…………… 10～11p |
| ・決算審査特別委員会報告…………… 4～7p | ・一般質問…………… 12～15p |
| ・請願・討論…………… 8p | ・12月定例会予定／表郷天狗山おもてごう里山クラブ／ |
| ・採決・踊り流し・福島県市議会議員研修会… 9p | 編集後記…………… 16p |

9月定例会

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案……………25件
- ◆請願……………2件
- ◆議員提出議案……………1件

全ての議案の審査結果
は市議会ホームページ
をご覧ください。



9月定例会が、9月10日～10月2日までの23日間の会期で開かれました。

一般質問では11名の議員がそれぞれ市の考えを質しました。

市長提出議案25件（うち人事案件4件）のうち、令和6年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定等については、決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査の後、最終日の本会議で認定及び可決されました。（4～7ページ）

また、補正予算や条例の一部改正などについて、いずれも原案のとおり可決及び同意されました。また、議案案として「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」が賛成多数で可決されました。

このページでは、一部の提出議案の内容について解説をしたいと思います。審議内容等については、10～11ページをご覧ください。

◇主な提出議案

● 議案第89号 白河市印鑑条例の一部を改正する条例

改正の理由

性同一性障がい等の性的マイノリティに配慮し、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書の男女の性別表記を廃止するため、自治体情報システムの標準化への移行に併せて、所要の改正を行うものです。

● 議案第90号 白河市介護保険条例の一部を改正する条例

改正の理由

介護保険法第115条の49に基づく保健福祉事業として、昨今の燃料費高騰や人員不足などに加え、昨年の介護報酬の引き下げにより更なる打撃を受けている訪問介護事業を対象とした支援金助成事業を緊急的に実施するにあたり、現行の条例では保健福祉事業の規定がないことから、所要の改正を行うものです。

● 議案第91号 白河市水道事業給水条例の一部を改正する条例

改正の理由

令和6年能登半島地震では、個人宅内の給排水に係る配管の破損が多数発生したことに加えて、給水装置工事事業者自身の被災や工事需要の集中等により、事業者の確保が困難な状況となり、結果として宅内配管の復旧が遅れ、家庭で水が使用できない状況が長期化しました。このことから、災害やその他非常の場合において、地元の給水装置工事事業者の確保が困難であると判断される場合は、宅内配管の復旧に対する業者を確保する必要があるため、所要の改正を行うものです。

● 議案第101号 令和7年度白河市一般会計補正予算（第3号）

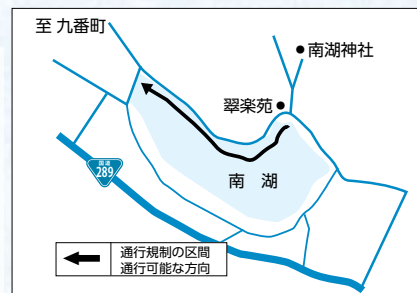
◇ 主な内容

◎ 南湖政策事業 295万8千円

新規 南湖北岸道路一方通行化事業

実証実験結果を踏まえ、北岸道路の車両一方通行規制を導入するため、安全対策の整備を実施するものです。

【外側線設置 規制標識設置 路面標記（矢印、文字）設置など】



◎ 農業振興対策事業

・担い手づくり総合支援事業 145万3千円

国の交付金を活用し、地域の担い手を支援するため、経営の発展に必要な機械導入費用を補助するものです。

・財政調整基金積立金 13億円

将来にわたる財源の不均衡や予期せぬ支出（大規模災害、税収減など）に備え、財政運営の安定化を図るために積み立てておく貯金です。

・住みよい街づくり事業 1億3,000万円

・緊急自然災害防止対策事業 6,800万円

（一般会計補正額合計 25億9,413万5千円）

● 議案第105号 令和7年度白河市介護保険特別会計補正予算（第1号）

◎ 介護事業所支援事業 630万円

新規 訪問介護事業所緊急支援事業

経営に深刻な影響を受けている訪問介護事業所への支援とともに、事業効率化により訪問介護を利用できていない方へのサービス誘導を図るものです。

対象事業所

- ① 訪問介護事業所から直線距離で5km以上離れた場所でのサービス提供→1回あたり500円
- ② ①に該当し、かつ新規または回数を増やしてサービスを行う場合は上乗せ→1回あたり3,500円

人事案件

○ 議案第108号 白河市監査委員の選任について

白河市監査委員 室井伸一（登り町・新任）

任 期 1年9か月 令和7年10月2日から令和9年7月8日

○ 議案第109～111号 人権擁護委員の候補者の推薦について

人権擁護委員 酒井智子（巡り矢・再任）

沼田浩一（表郷金山・再任）

橋本 薫（大信下小屋・新任）

任 期 3年 令和8年1月1日から令和10年12月31日



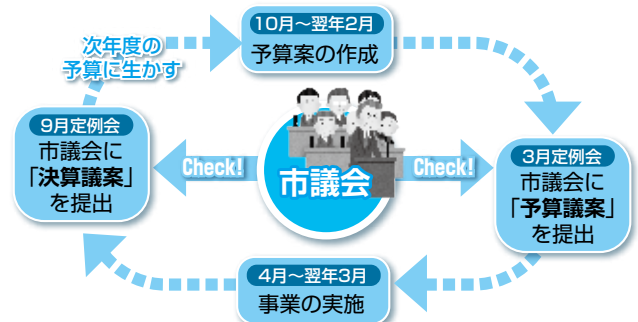
人権擁護委員とは、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したりして、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるよう啓発活動をしています。

令和6年度決算

決算審査特別委員会による審査を実施

決算審査とは

議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに、提出された資料に基づいてその効果を検証し、市民に代わって行政効果を評価するとても重要な制度です。



◎一般会計決算

※千円以下は切捨てていますので、合計額は一致しません。

一 般 会 計	令和6年度	令和5年度	増減率
収入済額	351億4,817万円	355億9,953万円	-1.3%
支出済額	332億4,376万円	337億4,407万円	-1.5%
歳入歳出差引額	19億440万円	18億5,546万円	2.6%
翌年度へ繰り越す事業の財源	7千489万円	2億260万円	-63.0%
実質収支額	18億2,950万円	16億5,286万円	10.7%

歳 入	令和6年度	令和5年度	増減率
市 税 市民税・固定資産税等	97億9,531万円	97億3,235万円	0.6%
地方譲与税 国や県が徴収した税金から配分される交付金	3億5,999万円	3億5,044万円	2.7%
地方交付税 財源の不足分を国が配分する交付税	72億8,025万円	75億6,089万円	-3.7%
国・県支出金 特定の事業に対しての国や県からの補助金等	77億1,880万円	79億3,230万円	-2.7%
市 債 借入金	21億9,320万円	22億7,270万円	-3.5%
そ の 他 使用料、手数料、繰入金等	78億60万円	77億5,085万円	0.6%
歳 入 合 計	351億4,817万円	355億9,953万円	-1.3%

歳 出	令和6年度	令和5年度	増減率
総 務 費 市税の徴収・庁舎の維持費等	58億2,254万円	44億3,265万円	31.4%
民 生 費 福祉、保育園運営、生活保護等	95億9,664万円	97億4,630万円	-1.5%
衛 生 費 検診やワクチン接種、ゴミ処理等	20億7,038万円	20億9,305万円	-1.1%
土 木 費 道路の維持管理、河川や公園管理等	39億7,359万円	34億8,210万円	14.1%
教 育 費 幼稚園、学校・社会教育や文化財の保護等	41億212万円	50億7,369万円	-19.1%
公 債 費 借入金の返済	30億4,203万円	37億8,932万円	-19.7%
そ の 他 議会費、農林水産費、商工費等	46億3,645万円	51億2,696万円	-9.6%
歳 出 合 計	332億4,376万円	337億4,407万円	-1.5%

◆健全化判断比率

指 標	内 容	令和6年度	令和5年度	早期健全化基準※	財政再生基準※
実 質 赤 字 比 率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	12.6%	20.0%
連結実質赤字比率	一般会計・特別・企業会計を合算した赤字の割合	赤字なし	赤字なし	17.6%	30.0%
実質公債費比率	年間の借入金返済額の割合(3か年平均)	8.3%	8.3%	25.0%	35.0%
将 来 負 担 比 率	将来見込まれる負債の割合	48.4%	43.5%	350.0%	—

※この基準を超えると健全化に向けた取り組みが必要になる

決算審査特別委員会を設置

決算審査特別委員

- ◎ 委員長 鈴木 裕哉
 ○ 副委員長 佐川 琴次
 委員 永山 均 遠藤 公彦
 植村 美洋 大木 絵理
 菅原 修一 深谷 弘



個別審査

- 議案第97号 令和6年度白河市一般会計及び各特別会計
歳入歳出決算の認定について
 議案第98号 令和6年度白河市水道事業会計決算の認定
及び剰余金の処分について
 議案第99号 令和6年度白河市工業用水道事業会計決算の認定について
 議案第100号 令和6年度白河市下水道事業会計決算の認定及び剰余金
の処分について

※委員それぞれの視点からの質疑内容を6、7ページに掲載しております。



総括質疑・討論・採決

・総括質疑 議案第97号

大木 絵理 議員

- Q** 令和5年度～6年度の生活保護法第78条適用件数及び不正受給額は？
A 令和5年度が30件、645万873円、令和6年度は35件、785万3,199円となっている。
Q 令和6年度末現在の不正受給額の未返還額と返還完了までの見込みは？
A 未返還額の累計は1,711万6,031円となっている。返還方法は、原則一括返還となるが、既に生活費などに消費している場合や、引き続き生活保護を受給している世帯は、一部分割による返還を認めている。その場合、返還期間は長期となり、完了までの見込期間の想定することは難しい状況である。
Q 厚生労働省の資料に、未申告収入の発見は、「ケースワーカーの業務において負担が大きい」という調査結果が記載されている。不正受給防止対策の強化の必要性について、市の考えは？
A 今後は、他の福祉事務所の取り組みを参考に、専門人員の配置やマイナンバーカードの連携など、より効果的な不正受給防止対策を検討していく。

深谷 弘 議員

- Q** 令和6年度の財政収支状況はどうなっているか。
A 普通会計では、歳入総額351億2,238万6千円、歳出総額332億1,798万4千円、差引額（形式収支）は19億440万2千円、翌年度へ繰り越すべき財源8,346万1千円、実質収支は18億2,094万1千円、単年度収支は1億7,947万9千円、積立金は14億408万7千円、繰上償還金はなし、積立金取崩し額は15億9,897万8千円、実質単年度収支はマイナス1,541万2千円となっている。
Q 令和4～6年度の実質公債費比率はどうなっているか。
A 令和4年度8.6%、5年度8.3%、6年度8.3%となっている。
Q 財政運営における余裕財源（財調・減債・公共施設等整備基金）はどうなっているか。
A 令和4年度合計額は84億8,876万3千円、5年度合計額は80億6,891万3千円、6年度合計額は80億9,305万7千円となっている。

・採 決

議案第97号については、討論ののち賛成多数で認定
 議案第98号から100号については、全会一致で認定及び可決



決算審査特別委員会総括

鈴木委員長の視点



令和6年度の各会計決算について、決算審査特別委員会を代表してご報告いたします。

会期中、委員一同は市民の皆さまからお預かりした貴重な税金が適正かつ効果的に執行されたかを厳正な目で審査いたしました。本委員会では一般会計をはじめ、その他の特別会計について歳入・歳出の状況を詳細に確認いたしました。事業ごとの成果や課題への対応策、執行部に対して多岐にわたる質疑を行い、徹底した審査を行いました。

本委員会の審査結果が今後の市政運営に活かされることを期待し、市民の皆さまには引き続き市政への関心をお寄せいただきますようお願い申し上げます。



デジタル・デバйд対策事業

積極的な出前講座

高齢者を対象としたスマートフォン教室を前期・後期に分けて開催したが、大信地域の参加者が5名・東地域の参加者が6名の結果

であった。今後の対策として、高齢者サロンや居場所づくり等に積極的に向く出前講座が必要である。



佐川副委員長の視点



有害狩鳥獣捕獲支援事業

地域間の連携が必要

鳥獣の農林産業等の被害が増加している中で、大信地域、小田川地域ではクマの出没情報が増加している。しかし鳥獣被害対策実施隊が減少しているのが、現状である。市民の安心、安全を守る為に鳥獣被害対策実施隊の増やす対策が必要である。当面としては地域間連携が必要である。



地域医療体制支援事業

県南地域の医療体制の充実が必要

県南地域の医師不足解消や医療体制の充実が地域の大きな課題となっている。特に救急患者受け入れや、小児救急医療について地域住民からの要望が大きい。安心して暮らせる地域にするため、近隣町村との連携を強化しながら、さらなる医療体制の充実が必要である。



永山委員の視点



地域公共交通総合連携事業

公共交通の利用が不便な地域の解消

過疎地域は、高齢者等が公共交通を利用しづらい状況になっており、人口減少を加速させる大きな要因ともなっている。タクシーや地域運行バスにより多様な社会実験を行い、地域住民のニーズを踏まえた公共交通のありかたを早急に検証していく必要がある。



白河が応援、白河を応援プロジェクト

各種関係団体と協議して事業を行うべき

本市の食のおいしさと安全性を発信するため、台湾の台北と高雄の2大都市の百貨店において、特産品の販売PRを実施した「しらかわフェア」について、引き続き事業の開催



にあたっては、本市の商工業、農業等の各種関係団体と協議して、事業を行うべきである。

遠藤委員の視点



良縁めぐり合わせ事業

まずは、登録者数を増やす施策が必要

決算額1,009万3千円の本事業は、結婚をしたいという希望を実現させるため、様々な取り組みを行い、結果、交際までは発展するが、結婚の実績まではいたっていない状況である。令和6年度の登録者数は男性44人、女性12人の合計56人であることから、まずは、登録者数を増やす施策が必要である。



移住・定住推進事業

効果的動画の配信

本市の暮らしやすさや首都圏との近接性を発信するために、インフルエンサーを招聘してYouTubeでの発信、移住定住促進イベントの参加・移住者のコミュニティ形成支援をおこない移住者を大幅に増加させる成果を上げた。



植村委員の視点



奨学資金貸与事業

経済的困窮者への配慮

能力があるにも関わらず、経済的理由により就学が困難と認められる生徒・学生に奨学資金が貸与され成果を上げているが、返還の免除条件の緩和など、経済的困窮者に対してのさらなる援助が望まれる。



不登校支援児童生徒教育支援センター事業

この事業の効果と今後の課題は？

国体記念体育館内のさわやか教室の他、校内に教室に入ることが難しいこどもへの支援として、スペシャルサポートルーム（以下SSR）の設置が進み、教室へ入ることが出来るようになったこどもが昨年は12名確認されている。さわやか教室は保護者への周知、SSRは職員配置の課題がある。



「さわやか教室で育てた野菜」

大木委員の視点



ファミリーサポートセンター委託事務

ひとり親家庭児や、兄弟の預かりに対して優遇措置を！

昨年度は送迎のみの利用が520件あり一番多い利用理由だった。現在、ひとり親家庭のこどもの預かりに対して預かり料金の助成などは行っていない。また、兄弟の預かりは2人目以降半額になっている。預かり料金が「まかせて会員」の収入となる。



産地生産基盤パワーアップ事業

意欲ある農業者支援の在り方を考える

農業振興費で、トマトを周年栽培する(株)みちのく白河農園に対して、6億2,983万円の補助金が支出されている。これは国の補助事業を利用して高性能な機械、施設導入に対する支援であり、総事業費12億5,367万円の1/2が国の補助で、市が300万円を上乗せして支援したものである。



アメリカの施設園芸農家

菅原委員の視点



よみがえれ!歴史的建造物活用事業

中心市街地活性化の起爆剤となって欲しい

天神町の大木家住宅建造物群を公有化し、今後どのような利活用をするのか。(株)NOTEと連携し、分散型ホテルやレストランを作り、中心市街地に回遊性と賑わいを創出する歴史まちづくりの調査、検討が行われ、今までとは違った形のまちづくりの形態であり、その成果が期待される。



埼玉県秩父市大正レトロな宿泊施設

財政運営のありかたについて

健全化最優先から、暮らし優先に

財政健全化最優先で80億円を超える積立金（余裕財源）が市民のために使われていない。

過去5年間の収支状況や余裕財源である積立金（財調・減債・公共施設整備等基金）の推移をみると、繰上償還の計上など財政健全化最優先でもっと市民のために予算を使うことが求められている。



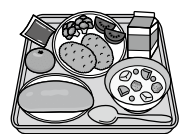
深谷委員の視点



市民負担軽減のための財源について

学校給食費無料化・ごみ袋料金値下げの財源はある

学校給食費無料化（保護者負担ゼロ）に必要な財源は約2億5,300万円。ごみ袋料金値下げ（料金に含まれる処理手数料ゼロ）に必要な財源は約1億2,800万円、市町村分担金への上乗せ（白河市7,296万円）で実現できる。



請 願

請願第3号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願

提 出 者 新日本婦人の会・白河支部 支部長 松井 美佐保

紹介議員 深谷 弘



<要 旨>

男女平等度を示す「ジェンダーギャップ指数」で日本は2023年、146カ国中125位と過去最低となった。選択議定書の批准は、個人に救済の道を開くにとどまらず、司法、立法、行政の場で女性差別撤廃条約を生かして具体的に差別撤廃を進める力になる。政府は、第5次男女共同参画基本計画にのっとり、すみやかに選択議定書を批准すべきである。

請願第3号については、「意見書第4号」として関係機関に提出しました。

請願第6号 犬猫の繁殖防止のための「不妊去勢手術助成金制度」の創設を求める請願書

提 出 者 近藤栄子、あさかわペットサポート 代表 上野 邦江

紹介議員 深谷 弘



<要 旨>

飼い犬猫や飼い主のいない犬猫の繁殖抑制を図り、地域の良好な生活環境を守るため、手術助成金制度ができている。それらの自治体では制度の利用が進み、住民からの高い評価を得ている。白河市の生活環境整備と、人と動物の共生する社会をつくるために、去勢不妊手術助成金制度の創設を求める。

<市民産業常任委員会での審査経過>

飼い犬猫については、飼い主の責任により、不妊去勢手術の対処をすべきであるとの意見があり、採決の結果、全会一致で不採択すべきものと決しました。

討 論

議案第97号 令和6年度白河市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について



賛 成

佐川 琴次 議員

令和6年度予算は、物価高騰による経常経費や人件費の増加に対応しつつ、「少子化対策」、「未来への投資」、「居場所づくり」を3本柱として予算編成している。一方、歳入をみると、これまで推進してきた企業誘致や徴収率の向上対策の効果もあり、自主財源の根幹を成す市税が約98億円と過去最高となった。また、地方債残高は着実に減少しており、自主財源の確保と財政の健全化に向けた結果、実質公債費比率、将来負担比率などの財政指標も健全な数値を示している。今後少子高齢化の進行により労働人口が減少し、歳入の伸び悩みが懸念される中で、社会保障費や施設の維持管理費、自然災害への備え、複合施設建設費や、上下水道のインフラ整備に多くの経費を要する。令和6年度末の基金の残高は合計約80億円で、市民の暮らしを豊かにする事業、安全・安心を確保する事業、利便性の向上や将来を見据えた事業など、多様な施策が着実に実施されたほか、物価対策も適切に行われているので賛成します。

反 対

深谷 弘 議員

決算の認定について、反対の立場から討論を行う。私は、令和6年度当初予算に反対の討論を行った。予算は概ね評価できるが、学校給食費無償化（少子化対策）、ごみ袋料金無料化（市民負担軽減）の予算措置がないことなどを指摘した。

予算編成について、すなわち、市民の声をどのように把握し、ニーズや課題を的確に捉え、事業（予算）に反映させたのか、私たちにはそのプロセスが明らかにされない。3月定例会直前に予算書が提示されるだけでは、調査する時間があまりにも少なく、審議も不十分にならざるを得ない。

財政運営については、財調・減債・公共施設等整備基金の名目で、常に80億円を超える「余裕財源」が積み立てられており、基本的には「ハコモノ」に充てられている。

物価高騰で市民の暮らしが大変なとき、予算をどのように使うのかが問われる。余裕財源を活用し、市民の負担軽減を図ることが、求められているのではないか。

本会議の採決

(賛否がわかれたもののみ記載)

議 案 名 ※○は賛成 ●は反対 除は除斥 ※議長（石名国光）は採決に加わ らない	永 山 均	遠 藤 公 彦	植 村 美 洋	大 木 絵 理	吉 見 優 一 郎	鈴 木 裕 哉	高 畠 裕	佐 川 琴 次	戸 倉 宏 一	根 本 建 一	室 井 伸 一	緑 川 撰 生	柴 原 隆 夫	菅 原 修 一	北 野 唯 道	水 野 谷 正 則	佐 川 京 子	大 花 務	高 橋 光 雄	大 竹 功 一	筒 井 孝 充	深 谷 弘	議決結果	
議案第89号 白河市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決 (賛成多数)
議案第97号 令和6年度白河市一般会計及び各特別会 計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	認定 (賛成多数)
議案第108号 白河市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (賛成多数)
請願第3号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定 書のすみやかな批准を求める意見書」 提出についての請願	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (賛成多数)
請願第6号 犬猫の繁殖防止のための「不妊去勢手 術助成金制度」の創設を求める請願書	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	○	●	○	○	不採択 (賛成少数)
意見書案第4号 女性差別撤廃条約選択議定書のすみや かな批准を求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (賛成多数)

◎議案第87～88号、90～96号、98～107号、109～111号については、いずれも全会一致で認定、可決または同意されました。

※議案第108号については、除斥により室井伸一議員は採決に加わりません。

踊り流しに参加 ～白河関まつり～

8月3日、「白河関まつり」恒例の「白河関の踊り流し」に白河市議会として参加しました。

約1時間、暑い中でしたが参加者全員が最後まで楽しく参加することができました。

参加団体ごとに1人ずつ受賞される個人賞は、大木絵理議員が選ばれました。

ご観覧いただいた皆さま、ありがとうございました。



令和7年度 福島県市議会議員研修会

～ 議論・政策立案をするにあたってのデータを活用 ～

8月22日、郡山市にて県内13市の市議会議員が一堂に会す、福島県市議会議員研修会が開催され、本市議会からは16名の議員が参加しました。演題は「政策議論・政策立案をするにあたってのデータ活用」でした。データに基づく市の現状と課題について、実際に郡山市やいわき市のデータを活用しながら、各議員がディスカッションを行い、学ぶことができました。研修の成果を各議員、今後の政策議論へ活かしてまいりたいと思います。



お詫びと訂正 「議会だより(第80号)」の内容に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

【訂正箇所】15頁 「お詫びと訂正」のうち、議会だよりの号数について 誤)「第74号」(正)「第79号」

16頁 「9月定例会の予定」のうち、委員会の日程について 誤)「9月22日(木)」(正)「9月22日(月)」

複合施設整備事業立体駐車場建設工事請負契約の一部変更

議案第87号 地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例のほか、議案3件が付託され、いずれも原案のとおり可決または同意されました。

● 議案第94号 複合施設整備事業立体駐車場建設工事請負契約の一部変更について

Q | 変更する契約金額の内訳は？

A | 増額分として、埋設物の解体処分^{ちゅうせつぶつのかいたいしゅぶん}の追加により380万円、地盤改良のための柱状改良^{ちゅうじょうかいりょう}の長さの変更により230万円。減額分として、仮囲い等の一部取りやめにより440万円、北側出入口を常閉とし、緊急出入口として仕様変更したことにより500万円、その他建設資材等の数量精査により440万円。これら増減の精算の結果、契約額が770万円の減となった。



複合施設イメージパース

● 議案第101号 令和7年度白河市一般会計補正予算（第3号）

地域おこし協力隊活用事業の地域補助金について

Q | 任期を終えた隊員がどのように事業を起こすのか

A | 事業は、映像作成を行うなどイベントの企画運営のサポートを行うものである。補助金はそれらの活動に必要な経費を補助するものである。

市民産業 常任委員会

他の証明書については、今後、国の動向を踏まえ対応

議案第88号 白河市災害慶弔金の支給等に関する条例の一部を改正する条例ほか、議案2件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第89号 白河市印鑑条例の一部を改正する条例

Q | 従来はなぜ印鑑証明書に性別の記載があったのか。
また、今後、他の証明書にも性別を記載しないものが出てくるのか伺う。

A | 個人を識別するにあたり、氏名、住所、生年月日、性別の4情報で特定しており、特定の精度を高めるために性別の記載があった。改正後、証明書の性別に記載はないが、行政の手続きとしては、引き続き4情報で確認していく。また、他の証明書については、今後、国の動向を踏まえ対応していく。

<参考（改正前：印鑑登録証明書様式）>

● 議案第101号 令和7年度白河市一般会計補正予算（第3号）

Q | 地域計画担い手確保支援事業補助金及び担い手づくり総合支援事業補助金の採択件数は何件か。

A | 地域計画担い手確保支援事業補助金については、6月補正対応7件、9月補正対応1件、合計8件の採択。担い手づくり総合支援事業補助金については、1件の採択。

Q | 戸籍住民基本台帳管理費 備品購入費の外国人在留カードの対象人数は？

A | 令和7年8月1日現在で937名。

訪問介護事業を対象とした支援金助成事業を緊急的に実施

議案第90号 白河市介護保険条例の一部を改正する条例のほか、議案4件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第101号 令和7年度白河市一般会計補正予算（第3号）

Q | 旧五箇中学校の備品の処分方法は

A | 利活用が不可であると判断された備品については廃棄処分とし、利活用が可である備品については、まず市内小中学校、図書館などの教育機関及び市の機関で活用し、残りの備品についてはインターネットオークションの利用を検討する。



旧五箇中学校

● 議案第105号 令和7年度白河市介護保険特別会計補正予算（第1号）

Q | 訪問介護事業緊急支援事業について近隣自治体でも同様の事業はあるのか

A | 現時点では本市のみの事業であるが、来年度には自治体を超えて東西白河郡の自治体が一体となり支援ができるよう各自自治体に働き掛けていきたい。

非常の際は他自治体指定業者でも水道復旧工事が可能に

議案第91号 白河市水道事業給水条例の一部を改正する条例のほか、議案7件が付託され、いずれも原案のとおり可決または同意されました。

● 議案第91号 白河市水道事業給水条例の一部を改正する条例

Q | 現在の指定業者数は何社か。

A | 134社（8月18日現在）

● 議案第95号 小峰城跡清水門復元整備工事請負契約の一部変更について

Q | 新たな遺構が確認されたとの説明だが、何が確認されたのか。

A | 江戸時代の水路跡や昭和時代の公園整備の水道管や電設管が確認された。

Q | 発掘調査は誰がやっているのか。

A | 文化財課の専門職員が行っている。



清水門

● 議案第101号 令和7年度白河市一般会計補正予算（第3号） 小峰城史跡整備事業

Q | 印刷製本費は一石城主返礼品の印刷との説明だが、返礼品はどのようなものか？

A | 城主証と寄附金額に応じた小峰城歴史館などの入館料が減免になる城主カード及び今回増刷する城主シールを送っている。

定率タクシー実証実験の目的は

交通弱者の移動実態や需要の把握



室井 伸一 議員



Q 定率タクシー事業の内容と市民からの意見等について伺う。

A 65歳以上の高齢者や障がい者などを対象に、自宅と市街地間のタクシー移動に対し、試験的に運賃を事業の継続性や公平性を踏まえ、2分の1の「定率補助」として利用者の声としては、「登録者証を提示するだけで助成券より便利」といった意見をいただく一方、「時間が午前9時からのため早朝の通院に利用できない」「目的地以外の寄り道も検討してほしい」といった意見があった。今後、実証実験の結果や利用者からの声を踏まえ、持続可能でより利便性の高い公共交通体制の構築を目指していく。

Q 自転車安全に道路を通行するため、夏季期間における除草を主とした道路管理について伺う。

A 交通量の多い幹線道路は、過年度の除草作業の実施状況を踏まえ、計画的に実施している。その他の市道については、日常実施している道路パトロールや市民からの連絡により、適宜、自転車の通行に支障となる道路敷内の除草を実施している。



道路の雑草

英語検定試験の受験料の補助について伺う

今後、補助の事例について調査研究していく



遠藤 公彦 議員



Q 本市の児童、生徒の英語の学力向上につなげるために、英語検定試験を受ける際の受験料を補助すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A まずは、英語力の向上に力を注ぎ、英語検定試験の受験料の補助については、今後の補助の事例について調査研究していく。

Q 本市の公共調達（物品購入・施設の維持補修・役務の提供等）の実施状況について伺う。

A また、地元企業の育成及び地域経済の持続的な発展を図るためには、地元企業に対する優先的な調達機会の確保が必要と考えるが、市の見解を伺う。

A 令和2年度に制定した「白河市中小企業・小規模企業振興基本条例」を踏まえ、品質や価格等に加え、地域経済の活性化を考慮し、市内業者、または、市内に営業所を有する事業所を中心に、発注するようにしている。今後も、地域経済の振興を念頭に、引き続き地元企業に配慮しながら調達事務を行っていく。



放課後児童クラブにおける長期休業中の昼食、市の考えは？

保護者会の意見を伺いながら、昼食提供の実施可否を判断する



大木 絵理 議員



Q 本市こども計画における基本視点「ライフステージに応じて切れ目なく支援する」は、どのような現状課題があるのか伺う。

A 現状課題として「支援を必要としている子どもや家庭を正確に把握できているか」という点がある。

Q 放課後児童クラブの民間委託の具体的な効果と、長期休業中の昼食について市の考えは？

A 道徳性や感性に働きかける発達段階に応じた支援プログラムやオンライン交流などを行う。昼食提供は、保護者会の意見を伺い、委託事業者と調整を図り、実施の可否を判断する。

Q サッカー場新設後の利用促進として市内小中高校の部活動で利用できるよう送迎支援を検討するべきではないか。

A 送迎支援については現状を踏まえ、総合的に検討する。

Q アナビースポーツプラザのキッズルームの環境改善とフットサルコートの利用料金見直しを行うべきではないか。

A 遊具の計画的更新や管理体制の向上に努めていく。適正な料金を今後検討していく。

県内の公共フットサル施設利用料金(大木調査)		
所在地	利用料金 (1時間)	主な特徴
須賀川市、郡山市、福島市、いわき市、富岡町など	330円～ 2,290円	屋内外 (人工芝)
白河市	3,300円～ 5,940円	屋内 (フロア)

消防団の充実強化にデジタル技術の活用を

既存の方法で可能な部分はデジタル化していく



鈴木 裕哉 議員



名が利用し、そのうち10組22名の移住に繋がった。今後も継続し更なる移住・定住への促進を図る。

Q 安価な利用料金のため、短期間だけの宿泊施設として使用されてはいないか。

A 申込み条件は、白河での暮らしを体験し移住を検討する方としている。それ以外の目的で利用されないよう努める。

Q 消防団活動における「火災発生時の連絡手段」「出動報告書の提出」「活動報酬の振込案内」「行事の開催通知」等を効率よく行うためのスマートフォンアプリの導入について伺う。

A 近隣町村の調査では、出動報告以外には有効に活用されていない状況だった。昨年来、消防栓の位置がHP上で確認できるようになり、消防団幹部会議での協議のうえ必要ないと判断した。



多文化共生社会について市の考えを伺う

関係団体、行政が連携し、実現に向け取り組む



戸倉 宏一 議員



Q 少子高齢化による生産年齢人口の減少は深刻化しており、その対策として外国人材の受入れが必要と思われるが、本市における多文化共生社会の実現に向けた市長の考えを伺う。

A 我が国は人口減少が進み、社会経済に大きな影響を及ぼしている。現に建設業や物流・介護・飲食業等、労働集約型の業種において顕著で、医療福祉、交通等、日常生活に欠かせない生活関連サービスの縮小や質の低下を招いている。これを補うため様々な施策を講じているが、中でも外国人の受入れは必要不可欠となっている。G7における外国人住民の割合はドイツ18・2%、フランス13・8%等であるが、日本は3%、本市は876人で1・55%となっている。今後、外国人労働者の必要性が高まることは間違いなく、その方々を市民として受入れ、互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員として共に生きる文化共生が一層重要となる。未来に希望の持てる白河を築くため、地域住民、企業、関係団体及び行政が連携し、多文化共生社会の実現に取り組む。



国及び県が進めている地域猫活動について、市はどのように対応しているのか？

ホームページやチラシ回覧等を通じて、市民に事業の周知を図っていく



大竹 功一 議員



Q 所有者不明猫いわゆる野良猫に対する対策として全国的に行われている「地域猫活動」について福島県も支援事業を開始したと聞く。しかし、一般市民・県民への周知がされていない。市はどのような対策をしているのか。

A 地域猫活動とは、地域住民が主体となり、所有者不明猫に対して、不妊去勢手術を実施するとともに、決められた時間や場所での餌やり、トイレの設置・清掃・管理などを行い、猫の数を増やさないようにする活動である。

県は、令和5年度から「福島県地域猫活動支援事業」として「説明会の開催」「チラシ回覧による活動周知」などを行っている。市としては、これまで同様、ホームページやチラシ回覧等を通じて事業の周知を図っていく。

Q 物価高騰により、市民は生活に困難し、特に年金生活者などの低所得者では、困窮の度合いが顕著である。市は生活支援について、どのように考えているのか。

A 生活状況の把握に努め、困窮者については、福祉まるごと相談窓口等を通じて、適正な支援をしていく。



県内の中小農家「コメの増産は難しい」

分散している農地の集約化は必要



柴原 隆夫 議員



Q 国は昨夏のコメ騒動に始まったコメ不足による米価の高騰により、減反政策から増産へと転換し、農地を集約化し、コストを削減して生産性を上げ、余ったコメは輸出するという方向性である。しかし、輸出するには価格の国際競争力の

向上が欠かせず、生産コストを大幅に引き上げる必要がある。5キロ当たり1,000円を切らないと国際競争力に対抗できないという。コメ農家の半数が70歳を超え担い手不足となり、県内農家の8割超を占める中小規模農家が増産するには限界がある。また、農地に強い愛着があり農業の継続を希望する農地を集約化することは簡単ではない。国の支援策は大規模法人向けが主で、中小・兼業農家への支援策が全く乏しいが、中小規模農家を守る政策が大切である。日本ではほぼ自給できるのはコメだけで、食糧安全保障上もとても大切であると思われる。農地集約化の課題について伺う。

A 農業人口の減少に伴い、担い手に農地の集積が進む中、効率的な経営をするには分散している農地の集約化が求められていると考える。



複合施設の総予算額と立体駐車場の台数は

総予算額は 73 億円で、駐車台数は 182 台



大花 務 議員



Q 複合施設整備事業の竣工予定は。
A 施設本体の工事は、建設予定地が市役所来庁者の駐車場として利用されているため、立体駐車場完成後の、令和9年4月の竣工を予定している。

Q 1階2階3階の概要は。
A 1階は、こども向けの屋内遊び場や子育て広場などで構成されるキッズプラザを設置する。さらに、中央保健センターを移転し、がん検診や乳幼児健診を行う予定である。2階は、中高生が利用する学習スペースのほか、こども未来局・健康増進課の執務室が入る。また、中央公民館の機能を引き継ぐ生涯学習センターの諸室として、講習会・会議のための研修室・ダンスや軽運動が可能なスタジオやフットサルコートを設置する。3階は、最大約160人を収容する多目的ルーム・防音仕様の音楽ルーム・創作活動のための工作室や個室スタジオのほか、施設利用者のためのコピー室や生涯学習課などの執務室を配置する。



複合施設イメージパース

Q 立体駐車場の概要は。
A 今年11月から供用開始予定。駐車台数は1階が57台、2階が60台、屋上階が65台の計182台が駐車可能である。

放課後児童クラブの民間委託で「経費削減」になるか

保育の質の向上を第一に、直営方式と経費を比較検討



深谷 弘 議員



Q 一般論として、民間委託すれば「経費削減につながる」と言われるが、果たしてそうなるのか。外部委託により、民間事業者が持つ運営ノウハウを生かして、子どもたちにいっそう有意義な時間を過ごしてもらえ、というが、そのための多彩な体験学習や全国の児童クラブとのオンラインによる交流、充実したレクリエーション活動を行うためには、新たな経費増加が予想される。委託料の増加が考えられるが、どう対処するのか。

A 今回の民間委託は、まず保育の質の向上を第一に考え、市の直営方式との経費を比較検討し総合的に判断したものである。なお、民間事業者との契約には、委託料の上限額が定められており、その範囲内で受諾できると判断した。

Q 全国的に給食事業などで委託の突然中止となる場合もある。委託継続ができなくなった場合、どう対処するのか。

A 事業者からは事前に連絡があり協議をすることになるの、それを踏まえ、その後の方針を決めることになる。



12 月定例会の予定 正式には開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

12月 3日(水) 本会議【開会、会期決定、提案理由説明】

9日(火) 本会議【一般質問・質疑1日目、委員会付託(請願・陳情)】

10日(水) 本会議【一般質問・質疑2日目】

11日(木) 本会議【一般質問・質疑3日目、委員会付託(議案)】

12日(金) 委員会【各常任委員会・付託案件の審査】

16日(火) 本会議【各常任委員長報告、質疑、討論、表決、閉会】

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。



こちらのQRコードを読み込んでください。



ぜひ、議会傍聴にお越し下さい 🍎

取材レポート

表郷 天狗山 おもてごう里山クラブ

「花も人もみんなそれぞれ良さがある」



穂積栄治さん

10月初旬、半そででもちょうど良いと感じる晴天の日、表郷にある天狗山の管理整備、自然の保全活動などに取り組む「おもてごう里山クラブ」へ現地取材に行きました。天狗山はカタクリやヤマブキソウなどの群生地として全国的にも有数の里山です。



アキノキリンソウ



シロヨメナ



年間約1万人の来山者のうち、8割は市外や県外のお客様。近年は修明高校の生徒と協働で、福島県のレッドリストの準絶滅危惧種となっている「レンゲショウマ」の保全活動を行い、今年8月に第1回目となるレンゲショウマまつりを開催したところ、多くの方が山を訪れたそうです。山に足を踏み入ると空気が変わり、木陰の中を歩くと清々しい気持ちになりました。季節は秋ですが、「フシグロセンノウ」「ツリフネソウ」「アケボノソウ」…少し進んだだけでもたくさんの草花が出迎えてくれました。案内してくださったのは会長の穂積栄治さん。「花の名前にはそれぞれの特徴が込められている。花はみんなそれぞれ良いところがある。人も同じだね。」という言葉に、仲間とともに里山を大事にされてきた思いを感じました。

「今後も里山クラブのメンバーと一緒に、同じ気持ちで楽しい活動をやっていきたい。天狗山という素晴らしい白河市の財産を一度見に来てください。」とおっしゃっていました。

日本一遅い山開き、天狗山の山開きは11月23日(日)に開催されます。ぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。

日本一遅い山開き、天狗山の山開きは11月23日(日)に開催されます。ぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。

(取材担当：大木絵理)

議会報編集委員会

大木絵理

永山 均

佐川 琴次

遠藤 公彦

戸倉 宏一 副委員長

高島 裕 委員長

厳しい暑さが続いた長い夏がようやく終わり、涼しい季節となりました。しかし、厳しい寒さの冬がもう直ぐ始まるうとしています。年々、過ぎやすい秋や春を楽しむ期間が短くなっているような気がします。

日本人ならではの「紅葉狩り」といった感性豊かな言葉があるように、紅葉を見ることは秋の楽しみの一つになっています。紅葉狩りに行くというと、遠くまで出かけるイメージがありますが、近年、杉などの針葉樹が減って広葉樹が増加しているため、近隣でも綺麗な紅葉が見られる箇所が増えてきました。この秋は、白河市内のおすすすめ紅葉スポットを探しに出かけてみてはいかがでしょうか。

委員 永山 均

編集後記

